

徳島市民病院

地域医療連携だより

平成25年
7
月号

〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

女性の下部尿路症状について

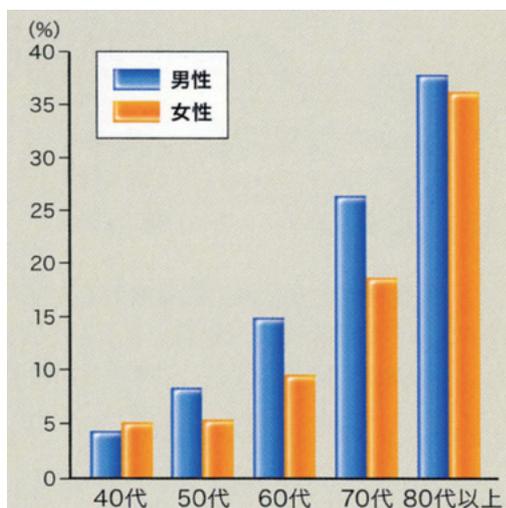
泌尿器科医員 津田 恵



女性は加齢に伴い、頻尿、尿失禁、尿意切迫感などの下部尿路症状を訴える頻度が増加します。特に、更年期を過ぎると、頻度が飛躍的に増加し、40歳以上の女性の10人に1人は過活動膀胱が存在するといわれています。

更年期以降は過活動膀胱に加えて、腹圧性尿失禁や排尿障害、慢性反復性膀胱炎なども増加してきます。

■過活動膀胱の年代別有病率

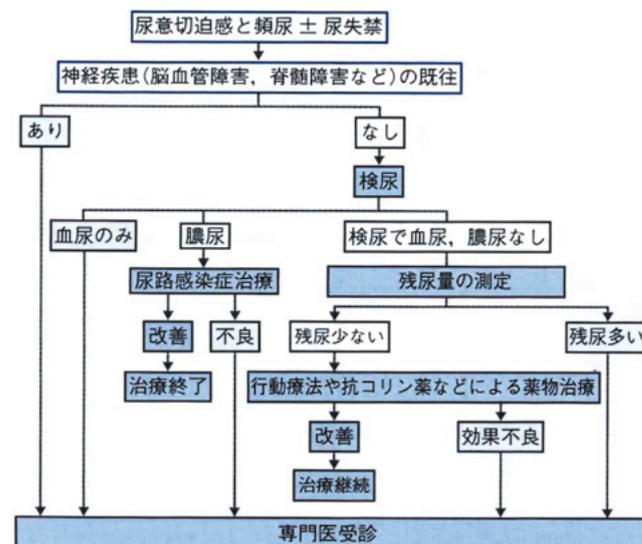


また、メタボリック症候群や生活習慣病が過活動膀胱に関連している可能性があり、2007年に熊本県下で実施されたSURPRISE調査では、生活習慣病で一般内科に通院中の女性の約16%が過活動膀胱であるとの結果でした。非常に罹患率の高い病気といえますが、実際は病気と自覚しておらず、排尿に関する悩みを抱える半数以上の人は病気とっていないとの結果でした。しかしながらその一方で、排尿に悩んでいる80%の方が、症状がよくなるとしたら治療を受けたいと回答していました。

下部尿路症状は、日常生活のさまざまな活動に支障を及ぼす可能性があります。頻尿や尿失禁を恐れて、行動を制限したり、過剰な対応をする傾向があるため、仕事や家事がおろそかになり、人との付き合いや外出がおっくうになることも多くみられます。糖尿病に匹敵するQOLの障害が見られることが報告されており、適切な治療が望まれます。

過活動膀胱は、通常、「頻尿」および「夜間頻尿」を伴う「尿意切迫感」があり、場合によっては「切迫性尿失禁」を伴う症状症候群で、患者さんの自覚症状に基づいて診断されるのが特徴です。尿検査で尿路感染症や、エコーなどで残尿がないことを除外する必要があります。

■OABの診療アルゴリズム



過活動膀胱の治療は、まずは「行動療法」を実施して改善を図るのが望ましいとされていますが、根気と時間を要することが多いため、「薬物療法」を併用して早期改善を目指します。症状の改善が見られない場合、おむつやパッドの使用も検討します。

薬物療法の中心は抗コリン剤になります。

ただ、心臓が悪い方や緑内障の方、残尿が多い方には使用ができません。抗コリン剤以外にもβ刺激薬などの治療薬が用いられます。

薬物以外の治療としては、水分摂取の制限、排尿間隔を延長して膀胱容量を増やす「膀胱訓練」や骨盤底筋の収縮力を高める「骨盤底筋体操」などの行動療法などがあります。また、カフェインなどの摂取を控えたり、寒い場所で長時間過ごすことを避けたり、便秘に注意するなど、日常生活へのアドバイスも手助けになります。

■骨盤底筋体操の方法

基本方法

- 1 あお向けになり、両足を肩幅程度に開いて、両ひざを軽く立てる。
- 2 体の力を抜いて、膣と肛門を意識的に締め、ゆっくり5つ数えてから緩める。
- 3 「ゆっくりと締めて、ゆっくりと緩める」動作と「速く締めて、速く緩める」動作を併せて20～30回繰り返す。
- 4 ③を1セットとして、1日に2～3セット行う。



過活動膀胱以外の下部尿路症状でよく見られるものとしては、腹圧性尿失禁があげられます。日本の疫学調査によると罹患率は40歳以上の女性22.4%でした。

治療としては、理学療法、薬物療法、手術療法があります。理学療法の中心は骨盤底筋体操であり、体重減少も有用です。腹圧性尿失禁に関しては、薬物療法は補助的であり、重症例ではあまり効果が期待できません。根治を期待するのであれば手術療法がよいとされています。日本でも施行例が増えており、当院でも大学病院と連携し、積極的にとりいれることを検討しています。

特に女性患者は泌尿器科への抵抗感や羞恥心から受診しにくいと感じる方が多い状況です。当科では少しでも受診されやすい環境作りにつとめておりますので、排尿の悩みがある患者さまを見かけた場合、受診をすすめていただけたら幸いです。



統計コーナー

診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科名	5月				4月				3月			
	初診患者数(人)	初診時間外(人)	初診紹介患者(人)	初診即入院(人)	逆紹介患者(人)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	
内科	285	112	128	23	78	74.6%	44.1%	70.1%	48.0%	79.3%	72.8%	
小児科	94	7	52	36	39	56.4%	41.5%	49.6%	46.0%	65.7%	38.7%	
外科	193	55	114	24	88	80.4%	61.5%	81.5%	62.4%	80.8%	53.8%	
整形外	285	94	136	7	258	71.8%	132.3%	78.1%	137.0%	76.6%	130.4%	
形成外	4	0	2	0	1	50.0%	25.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%	
脳神経	91	13	41	9	45	53.2%	57.0%	63.5%	87.3%	52.8%	62.9%	
皮膚科	61	7	18	0	5	33.3%	9.3%	36.1%	11.5%	39.3%	12.5%	
泌尿器	49	8	23	5	7	56.1%	17.1%	58.8%	32.4%	57.6%	42.4%	
産婦人	98	21	43	5	29	55.7%	36.7%	63.5%	21.6%	71.0%	23.2%	
眼科	23	4	7	0	7	36.8%	36.8%	26.3%	63.2%	53.8%	61.5%	
耳鼻咽	67	7	35	8	34	59.0%	55.7%	56.9%	66.7%	46.6%	58.6%	
放射線	69	0	67	0	75	97.1%	108.7%	93.1%	105.6%	98.1%	113.5%	
合計	1,319	328	666	117	667	66.9%	65.7%	67.8%	69.9%	70.0%	68.9%	

平成25年5月の紹介患者数(再診患者を含む)
325医療機関より998名ご紹介いただきました。
ありがとうございました。



平成25年度
緩和ケア研修会のご案内



厚生労働省の開催指針に沿った緩和ケア研修会を開催いたしますので、ご参加ください。

- 日時** 平成25年8月25日(日) 9:30～17:10
平成25年9月1日(日) 9:30～17:10 (全2日間)
- 場所** 徳島市民病院 地下1階 講義室
- 対象者** がん診療に携わる医師(定員12名)
- 申込メ切** 平成25年8月16日(金)
※定員がいっぱいになり次第、申込受付を終了させていただきます。
- 申込方法** 電話または電子メールで受講希望の旨をご連絡ください。
折返し、申込書等を送らせていただきます。
- 申込先** 徳島市民病院医事課
TEL: (088) 622-5121
E-mail: iji@hosp.tokushima.tokushima.jp



市民公開講座のご案内



次のとおり、市民公開講座を開催いたします。多数のご参加をお待ちしておりますので、是非ご来場ください。

- 日時** 平成25年9月14日(土) 10:00～12:00
- 場所** ふれあい健康館 1階ホール
- 内容** 『人工膝関節・股関節置換術について』 整形外科主任医長 中村 勝
『脊椎疾患と脊椎手術について』 整形外科診療部長 千川 隆志
- 定員** 200名
- 参加費** 無料
- お申込・お問い合わせ** ふれあい健康館 TEL: 088-657-0190



平成25年度徳島市民病院と 共同診療登録医との講演会・懇親会

平成25年7月4日（木）、阿波観光ホテルにおいて平成25年度徳島市民病院と共同診療登録医との講演会・懇親会を開催しました。

講演会の部では「耳鼻科医のみている喉頭～嗄声と嚥下～」という演題で、耳鼻咽喉科総括部長の田村公一医師が講演しました。

後半の懇親会の部でも、連携医療機関の先生方との交流の場をもつことができ、盛大に会を開催することができました。

各医師会から多数の先生方にご出席いただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



FAX予約受付時間の変更について

8月1日より、FAX 予約受付時間を下記のとおり、**延長・拡大**いたします。是非ご利用ください。

現 行

平 日：8：30～17：00



8月1日～

平 日：8：30～19：00

土曜日：8：30～17：00



※祝日・日曜日は受付できませんのでご了承ください。